

(学校経営の全体構想) 多治見市立池田小学校「元気・笑顔」プラン 2024

本校は、穏やかで人懐こい児童が多く、見通しや具体的な方法がわかる活動については取り組むことができる。一方、生活経験や自信のなさから、自ら考えて判断や行動することや、仲間との関わりの中かで表現することに弱さがある。また、家庭環境及び家庭生活の変化により、運動に対する関心、意欲とともに体力低下が見られる。

このことから、知・徳・体の3つの力を身に付ける教育を推進する。多様性を認め、基礎基本の定着を大切に、個の持ち味を生かし伸ばす。仲間と学ぶ喜びや充実感を味わうことができる教育を展開することで、自己肯定感や自己有用感を高め、自主性や自立力を育成する。「元気に登校、笑顔で下校、楽しい池田小」を合い言葉に掲げながら、安全・安心をもとに、一人一人に確かな学びの場を保障するやことを目指し、地域を含めた組織力を生かしながら実践を進める。

目指す学校像

元気に登校、笑顔で下校、楽しい池田小

- ①子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校
- ②子供たち一人一人が目標をもち、仲間とかかわりながら自己表現し合える学校
- ③子供たち一人一人が大切にされ、保護者や地域から信頼される学校

教育目標

やさしく

かしこく

たくましく

目指す子ども像

人を大切にする子

「ちがいがわかる。ちがいをいかす」

- ・ 仲間の違いや持ち味を受け入れる
- ・ 自分や仲間のよさを知り、生かす
- 「仲間と何かをするのは楽しい」の実感
- ・ いじめを許さない

学ぶことが好きな子

「ひとりでできる。みんなでわかる」

- ・ 「できた」「わかった」と実感する
- ・ 自分で、仲間と、追究・追求する喜びを味わう
- ・ 学ぶことの楽しさ、おもしろさを知る

ねばり強くやりぬく子

「まず、やってみよう。次こそ、もっと」

- ・ きまりのある意味がわかり進んで守る
- ・ 自分のことは自分でする、自分でできる
- ・ 目標の達成に向けて、挑戦し続ける。

自己肯定感をもとに、自立力、共生力、創造力の育成

具体的な手立て 「池田っ子宣言」「地域連携」

- ・ 人権教育、道徳教育、情報モラル教育等の推進【各主任】
計画的、意図的な取組 「ぎふ いのちの教育」
- ・ 特別支援教育、教育相談の充実【特別支援 CN、教育相談 CN】
- ・ いじめ・不応問題への迅速・丁寧な対応
教育支援会議、校内教育支援センターの運用

- ・ 基本的な学習習慣の定着【学習部】
「きく・話す(書く)」
- ・ 主体的・対話的な学び【研究推進委員会】
ICT活用、小集団学習の活用
- ・ 人と関わる学び【キャリア教育推進教師】
ふるさと教育の推進(外部人材・地域資源の活用)

- ・ 基本的な生活習慣【生活健康安全部】
もくもく掃除・整理整頓
- ・ 自助、共助による安全教育【保健主事】
- ・ 「食育」の推進【栄養教諭】
- ・ 主体的な児童会活動【児童会担当】
あいさつ、異学年交流活動、ボランティア
- ・ 楽しんで体を動かす(朝運動、学級遊び)【体力向上、担任】

目指す教師像

- ①学校の教育目標具現のために、学校組織の一員として自ら自分の役割を果たす教師
- ②結果よりも一つ一つの過程を重視し、一人一人のよさや伸びをフィードバックする教師
- ③固定的な見方・考え方をせず、ともに追求し、高め合う授業の構築に取り組む教師
- ④自己管理や自己研鑽する教師(服務従事、健康保持、自己研修、危機管理) 「元気」に「笑顔」で、子供たちの前に
- ⑤同僚性と風通しのよい職場づくりに尽力する教師
- ⑥保護者や地域の声に耳を傾けられる教師(傾聴と対話)

学校の基盤～信用と信頼～

- 地域の教育力の活用
 - ・ キャリア教育の充実…地域人材、地域資源等の活用
 - ・ ボランティアの活用(下校、花育など)
- 開かれた学校づくり
 - ・ 随時相談 ・ 発信(便り、HP、きずなメール) ・ 学校アンケート(2回)
 - ・ 自己評価、学校関係者評価の説明と改善
- 学校運営協議会の運営
 - ・ 地域と一体となった学校運営
- 地域との協力
 - ・ 地域行事への参加協力 ・ 保育園との交流

- 笑顔と明るさ、温かさと厳しさ、役割と組織で動く教職員集団
 - ・ チーム意識で児童を育て、保護者に寄り添う
- 教育専門職としてプロ意識を高め合う教職員集団
 - ・ コンプライアンスの遵守
 - ・ 「教員のキャリアステージにおける資質の向上」に関する指標に基づく自己研鑽
- 連携を重視する教職員集団
 - ・ 「報・連・相」を徹底し、常に情報を共有する
 - ・ 保護者、地域、関係機関と連携しながら指導・支援を行う